



国際ロータリー第2800地区

会長 加藤 功
幹事 富樫 松夫

鶴岡ロータリークラブ

超我の奉仕

第2307・2308回 例会会報 平成18年3月14日・28日(火) 晴・雨(本年度 第33・34回)

会長報告

加藤 功

RIでは、3月13日～19日は、世界ローターアクト週間としている。1968年3月13日、世界で始めてのノースシャーロット・ローターアクトクラブ(RAC)ができました。ローターアクトについて若干紹介したいと思います。「ローターアクトは、ロータリーがスポンサー(提唱ロータリー・クラブ)となっている18歳から30歳までの青年男女のための奉仕クラブです。ローターアクト・クラブは通常、地域社会または大学を基盤としており、地元のロータリー・クラブがスポンサーとなっています。ローケーアクト・クラブは、スポンサー・ロータリー・クラブの「奉仕のパートナー」であるとされ、ロータリーファミリーの重要な一員であるとみなされています。

ローターアクト・プログラムを通じて、若い世代の成人は知識や技能を学ぶばかりでなく、地域社会の物質的・社会的ニーズに取り組みながら、友情と奉仕の枠組みの中で国際理解と平和を推進していきます。

ローターアクトのあらゆる活動は地元の草の根レベルから始まり、すべてのローターアクト・クラブは国際ロータリーやロータリー財団の資源を利用することができます。

鶴岡ローターアクト・クラブでは、世界ローターアクト週間には5つのプロジェクトを実施する計画である。3月10日には、世界ローケーアクト・プロジェクト1として献血活動を実施し、献血者46名。3月13日には、同プロジェクト2として鶴岡ロータリー・クラブ会員(後藤順一君)の卓話「方言について」を実施し、鶴岡ロータリー・クラブより13名の参加を得ました。

鶴岡ローケーアクト・クラブは1972年11月28日に設立し、33年有余になります。3年前に

30周年記念式典を行っている。現在会員は9名である。現在の活動状況についてみると、去年は、4月21～22日鶴岡で当地区第14回地区年次大会開催、RI会長賞受賞、「インターナショナル・ライラ・イン・タイワン」に参加(小野寺志津香)、防災セミナー、内川清掃、花花運動、山王ナイトバザール参加、由良海岸香頭ガ浜海岸清掃など、専門知識開発や社会奉仕に積極的に活動している。

定款・細則改定協議会

議長：斎藤 昭君

定款 第3条 本クラブの所在地域は、次の通りとする。

鶴岡市及び東田川郡三川町、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村

改正(案)：本クラブの所在地域は、次の通りとする。
鶴岡市

定款第18条 第2節 第2条と第3条の改正
～投票する出席会員の過半数の賛成投票によって～

改正(案)：～投票する出席会員の2/3の賛成投票によって～

細則第1条改正。「1名ないし複数の副会長」の複数の副会長を削除。それに伴って6条7条も改正。
出席会員全員の賛成により承認。

会長報告②

於：湯田川甚内旅館

先週は春分の日のため例会は休みになりました。ちょうどその日は第一回世界野球大会の決勝戦が日本とキューバ・チームで行われました。皆様もTVでご覧になられたことと思います。

日本はオリンピックでも過去三度優勝しているキューバを破り、世界一に輝いた。一度失いかけて王座だけに感無量でありました。二次リーグ戦では対米戦で、飛球のタッチアップで米国の審判が疑

車が動いていない時は

ストップ！アイドリング

問の判定をして日本は敗れた。韓国戦に負けて絶望感の漂う中、米国がメキシコに敗れてやっとよみがえった。「眼の前が暗くなるようなことがあっても、いつかは光が差し込んでくることがある。決してあきらめずにいれば、最後には勝利をつかめるかもしれないということを、日本チームは身をもって示した」。

全国版のスポーツ新聞はもとより、全国版の読売、朝日、毎日、また産経新聞、地方版の山形新聞に至るまで社説やコラム記事にこぞって取り上げていました。

日本に野球が入って130年。プロ野球が組織されて70年余。今や国民的スポーツとして地域に根ざしている。子供から大人まで愛されている。現在、第78回選抜高校野球が行われている。今回、山形県からは出場していませんが、それは郷土愛をはぐくんでいるとおもいます。野球はチームの結束を戦力とするといわれています。初のワールド大会は日本チームがその一体感の魅力を国際レベルへと拡げたと言えましょう。なおまた、イチロー選手の日本チームへの思い入れと愛国心に燃えた発言には大変に驚かされました。

いずれにしても、私はこの度のWBC（世界野球大会）の感想として、①ゲームの意外性 ②チャンスを生かした集中力 ③最後まであきらめない大和魂 ④国際レベルで楽しめる面白さと一体感を味わい、学ぶことができました。

ところで、我々、ロータリー・クラブにおいても、「奉仕の理想」に向けて活動を展開して皆がよかつたなと言えるような一体感が醸成されるようになりたいものと思う次第であります。

蕎麦打ち家族例会にあたって

蕎麦打ち家族例会にあたり、ソバの由来について少し話をいたします。ソバはタデ科の1年草で、冷涼な気候でよく育ち、生育期間は2~3ヶ月と短く、早生の夏ソバと晩生の秋ソバの生態型に区別できる。生産国はロシア、ポーランド、アメリカ、カナダ、中国、日本であり、日本では冷涼な北海道が半分を占めている。その他鹿児島、長野、茨城、栃木、山形であるが、日本の消費需要量の80%は中国、アメリカ、カナダの外国産のそば粉で賄われている。起源と伝播では、ソバの野生種には2倍種と4倍種の2種が分布する。栽培ソバは2倍種であり、野生2倍種は雲南地域に限られていることから、栽培ソバの起源は雲南地域であると確実視されている。栽培ソバには普通種とダッタン（モンゴル）の2種が

ある。（以下失礼ながら割愛させて頂きました。）



蕎麦評論家も
絶賛！

委員会報告

出席委員会

本日の出席

会員数	47人
出席数	26人
出席率	59.09%

委員長 阿蘇司朗

前々回の出席
出席率 61.36%
修正出席数 29人
確定出席率 65.91%

●マークアップされた方

藤川享胤君・秦 幸助君・本間喜美子君
本間昭吉君・真島吉也君・佐々木皓彦君
佐藤孝子君・若生恒吉君・高橋良士君

●ビジター

加藤有倫（鶴岡西RC）・佐藤浩士（鶴岡東RC）

○年間皆出席者

1年 越智茂昭君

○2月 100%以上出席者

300% 藤川享胤君

175% 加藤 功君・富樫松夫君

125% 秦 幸助君・本間喜美子君・本間昭吉君
丸山隆志君・御橋義諦君・佐藤友行君
若生恒吉君

100% 阿蘇司朗君・樋渡美智子君・石田 雄君
加藤恒介君・嶺岸禮三君・真島吉也君
若生恒吉君・加藤 賢君・白幡憲一郎君
越智茂昭君・佐々木皓彦君・佐藤孝子君
桜井 隆君・高橋良士君・塚原初男君
富田喜美子君

スマイル

上野欣一君 三男が現役で目標としていた大学に合格しましたのでスマイルします。

樋渡美智子君 検食を兼ねて昼食をとってきましたが、もう一度食べてしまいました。先日は、誕生日の花、ありがとうございました。

青柳孝治君 前回の例会にゲスト出席されたシモンズさんが、翌日「でがんす」に来店され、お土産をお買い上げ頂きました。店内の商品の説明をさせて頂きました。ありがとうございました。